

# ひろの

# 議会だより

P2 令和7年度予算成立

P4 令和7年度  
注目事業

P10 常任委員会報告

P13 6人の議員が  
町政を問う  
(一般質問)

No.165

こども園  
入園式

広野こども園に  
0歳から3歳までの  
元気な16人の園児が  
入園しました。



QRコードを読み込  
むと議会の情報を見  
ることができます。



令和7年第1回定例会を3月7日から14日までの8日間の会期で開きました。

町長が施政方針を述べ、一般質問には6人の議員が農政、町政、事業執行、道路管理、環境美化、起業支援などについて、町の考えをたどしました。

町提出案件は23件で、人事、条例の制定及び一部改正、令和6年度3月補正予算、令和7年度当初予算などを審議し、全て原案のとおり可決しました。

また、「広野町議会政治倫理条例に関する調査特別委員会の設置について」の発議案が提出され、全会一致で可決しました。



遠藤 智 町長

## 町長の施政方針

本年、広野町は町政施行85周年を迎えます。ふる里広野町の歴史、伝統、文化に対する誇りを胸に、本年をふるさと復興・創生「漸進の年」と位置づけ、「いのちを守り、人を活かし、未来をつくる町」を標榜し、日本一元気なまちづくりと更なる復興創生の躍進に向け一步一步確実に、全力で取り組んでいきます。

「いのちを守り」の事業として、株式会社ルネサンスとの協定による、すべてのライフステージを通して自発的で持続可能な健康づくりの推進、防災用トイレトラックの導入、消防団支援アプリの導入、折木地区土砂採取区域の森林回復等に取り組めます。

「ひとを活かし」の事業として、「とんぼのめがね米」など特産品の販売促進や消費拡大、いわき短期大学附属幼稚園との交流による幼児教育の質の向上及び人材育成等に取り組めます。

「未来をつくる町」の事業として、「第36回巨木を語ろう全国フォーラム福島・広野大会」の開催、産業団地への企業誘致、広野駅周辺整備、若者・子育て世帯の移住定住の促進、再生可能エネルギーの推進、子育て・教育環境の構築等に取り組めます。

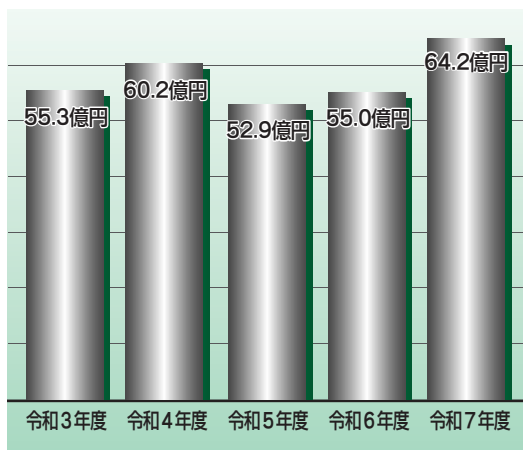
## 令和7年度予算の概要

一般会計予算は再エネ、森林機能回復、給食センター整備事業等で前年度比16.7%増

令和7年度予算は、東日本大震災からの復興・創生への取り組みを優先し、“ふる里復興・創生「漸進の年」”として、地域包括ケアシステムの拡充、ゼロカーボンビジョンの推進、移住・定住施策としての駅東側第2期開発住宅用地取得支援事業、広野駅周辺整備事業、地方公共団体情報システムの標準化・共通化事業を核とした編成となっています。

特に、復興・創生に係る主な経費としては、移住定住促進対策事業及び心の復興支援事業等を行うための地域振興対策費、自立継続サポート事業、健康づくり啓発普及事業、不妊治療費助成事業、環境放射線モニタリング事業、ふくしま森林再生事業、広野町学校給食共同調理場整備事業、グローバル教育推進事業費等を計上しています。

### 一般会計予算額の推移



### 令和7年度各会計当初予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	64億2476万円	16.7% ↑
特別会計	国民健康保険	6億8821万円 13.4% ↓
	土地開発事業	3654万円 33.1% ↓
	介護保険	5億3386万円 6.6% ↓
	後期高齢者医療	6906万円 13.7% ↑
下水道事業会計	3億7754万円	2.4% ↑
合計	81億2997万円	10.5% ↑

# 令和7年度予算

## 一般会計予算討論の末6対1で

可決

3  
月  
定  
例  
会



### 反対討論 渡邊 忠義 議員

二ツ沼公園の合宿の宿にかかる工事費について、コンクリートの耐震強度等の確認が不足していると考えており、将来ある子ども達に使用させることは理解できません。

また、土砂採取事業区域の森林機能回復について、これまで8億2千万円も使い、更に2億5千万円も計上されていることは納得できませんので、反対します。

### 賛成討論 北郷 伯弘 議員

過去にも色々な話がありましたが、全て我々代表たる者がそれでやってきて、また令和7年度に向かって新たに怯むことなく、下がることなく、進めなきゃならないということですので、賛成です。



二ツ沼総合公園合宿の宿

※合宿の宿の耐震については、議会後に執行部より資料が提出され、平成17年度に耐震改修工事を実施したことを確認しました。

令和7年度

# 注目事業クローズアップ!

議会が特に注目した事業を紹介します。



町制80周年記念式典の様子

## 町制85周年記念事業

町制85周年を記念し、功労者への表彰等を行う記念式典、地域コミュニティ及び町民相互の親睦と融和を図る「第35回広野町民号」、森林や里山の魅力を全国に発信し、自然環境保全の普及啓発を図る「第36回巨木を語ろう全国フォーラム福島・広野大会」等の事業を実施します。

## 二酸化炭素排出抑制対策事業

公共施設や町有地に民間企業が太陽光発電設備を設置・所有・管理し、自治体は発電された電力の使用料金のみ支払う仕組み(PPA方式)により再生可能エネルギー設備を導入し、災害時における電源の安定供給を図り、地域防災拠点としての公共施設の役割を強化します。



中央体育館南側法面に設置された太陽光パネル



二ツ沼総合公園合宿の宿客室

## 二ツ沼総合公園 合宿の宿維持補修工事

令和4年3月に発生した福島県沖地震により被害のあった公園内建物について、令和4年度に被災調査を実施した結果、要修繕箇所が多数あり、令和7年度は優先度の高い合宿の宿の維持補修工事を行います。(工事内容:内部改修、外部塗装改修、防水、浴室改修、電気設備、機械設備等)

## 土砂採取区域森林機能回復事業

福島県の林地開発と土砂採取事業の許可を取得して実施していた折木地区土砂採取事業が硬質な岩盤の出現により途中で中止となったため、災害防止・環境保全対策工事を行い、土砂採取事業を安全に完了させます。

(工事内容:客土、造成森林、法面保護等)



2.5億円

折木地区土砂採取区域



2199万円

町産バナナを使って開発したパフェバナーク

## スイーツ甲子園 ふくしまチャレンジカップ

昨年度に引き続き、大熊町、富岡町、楡葉町、広野町の4町連携で、全国の高校生を対象に各町産品を使ったスイーツ作りコンテスト「スイーツ甲子園ふくしまチャレンジカップ」の開催や東京で各町賞受賞高校が開発したスイーツを販売する「ふくしまスイーツフェスティバル」の開催など、イベントを通して町産品の魅力を情報発信し、認知度向上を図ります。

## 防災用トイレトラック導入

避難生活での健康被害や衛生環境悪化を防ぐため、本町でも避難所における簡易トイレの備蓄などの対策を進めてきましたが、更なる体制強化を図るため、防災用トイレトラックを導入します。

導入後は、いざという時に全国の参加自治体が駆けつけ、助け合う「災害派遣トイレネットワーク」に参加します。



2912万円

防災用トイレトラック

## 1か月児健康診査事業

乳児の健診を実施し、出生直後には診断することが困難な身体疾患を早期発見し、早期治療による疾病予後改善につなげます。

12万円

## 5歳児健康診査事業

集団生活を営むうえで必要な社会性の発達や自己統制などの行動面の発達を診査し、就学に向けて必要な準備を進めていくことにつなげます。

93万円

再 任



人権擁護委員の推薦

任期 令和7年7月1日から  
令和10年6月30日まで

おおわだ あやこ  
大和田 文子 氏  
(下北迫)

再 任



固定資産評価審査委員

任期 令和7年5月20日から  
令和10年5月19日まで

おの しゅうじ  
小野 修司 氏  
(下北迫)

## 空家対策強化

### 広野町空家等の適正管理に関する条例を可決

広野町においても、空家等の件数は増加傾向にあり、適正に管理がされていない空家等が生活環境に著しい影響を及ぼすことが懸念されることから、法に基づく空家等に対する適正管理の指導のほか、緊急時の安全措置の実施などを可能とすることで、安全で安心な地域社会を実現するための条例が制定されました。

### 町が行う主な内容

- ・空家等の所在及び所有者等を把握するために立入調査等を行う
- ・空家等の所有者等に適正管理を求めるとともに、必要な情報提供等を行う
- ・特定空家等の認定や行政代執行等の措置を審査する特定空家等認定審査会を設置
- ・管理不全空家等の所有者を調査するために課税情報等を内部利用できる

## 令和6年度3月補正予算

会計名		補正額	補正後の予算額
一 般 会 計		▲4億6935万円	55億5204万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	▲1億 798万円	7億3686万円
	土 地 開 発 事 業	▲1898万円	3609万円
	介 護 保 険	▲459万円	7億1319万円
	後 期 高 齢 者 医 療	514万円	6678万円
下 水 道 事 業 会 計			3億6903万円
合 計		▲5億9576万円	74億7399万円

- 主な内容（一般会計）
  - 住宅使用料 223万円増（歳入）
  - 移住定住促進対策費 7678万円減（歳出）
  - コミュニティ交流事業助成金 50万円減（歳出）
  - 防災用トイレトラック購入費 2912万円増（歳出）

# 政治倫理条例制定に向け 特別委員会を設置

議会議員は公職者としての高い倫理観と深い見識により、自ら定める明確な政治倫理基準に基づき、誇りと自信を持って活動し、町民に対し説明責任を果たしていくことが必要です。

もって議会議員と町民との信頼関係を築く基盤として議会議員の政治倫理条例の制定に向け調査特別委員会を設置することとしました。

## 委員会構成

### 委員長

遠藤 浩 議員

### 委員

西本 久雄 議員

渡邊 忠義 議員

西内 玄太 議員

北郷 伯弘 議員

門馬まりえ 議員

### 副委員長

高木 光雄 議員

## 2つの施設の指定管理者を指定

### 二ツ沼総合公園



二ツ沼総合公園

● 指定管理者となる団体  
株式会社 広野町振興公社  
(広野町下北迫)

● 指定の期間  
令和7年4月1日から  
令和10年3月31日まで

● 指定管理料(令和7年度)  
5948万円

### ひろのてらす



ひろのてらす

● 指定管理者となる団体  
株式会社 広野町振興公社  
(広野町下北迫)

● 指定の期間  
令和7年4月1日から  
令和10年3月31日まで

● 指定管理料(令和7年度)  
2534万円

# 令和6年度補正予算

## 住宅使用料過年度分

**渡邊 忠義 議員** 徴収担当者は？

200万円を超える住宅使用料過年度分を徴収したようですが、徴収担当者はいるのか伺います。

**飯島 総務課長** 総務課財政管財系の職員が中心

総務課財政管財系の職員が中心となって滞納等の徴収にあたっています。

調停2件が成立し、未納者から支払いがあったことが、金額が大きくなった要因です。

## 移住定住促進事業

**高木 光雄 議員** 減額になった理由は？

移住定住促進対策費が7600万円減額になっている理由を伺います。

**飯島 復興企画課長** 補助金の申請がなかった

当初は15区画の申請を見込んでいた駅東側第2期開発の住宅団地の取得にかかる1件300万円の補助金の申請がありませんでした。

さらに、移住支援金給付事業、空家改修についても申請がなかったことなどが大きな要因です。

## 広洋台整備事業

**高木 光雄 議員** 現場をよく調べて発注を！

広洋台整備事業の金額が当初より60%減額されています。

計画の時点で現場をよく調べて発注した方が良いのではありませんか。

**飯島 復興企画課長** 工夫をしながら施工する

施工方法はなるべく安価に、確実にということですので、全課で工夫をしながら施工していきたいと考えています。



雑木等を除去した広洋台調整池

3月定例会  
質疑

費用対効果を見直し  
率的な財政運営を

3月定例会では、令和6年度補正予算における減額理由や令和7年度当初予算における事業の費用対効果など、議員からさまざまな意見や指摘が出されました。その中の一部を紹介します。



# 令和7年度当初予算

## 町制施行85周年記念式典

**西内 玄太 議員** 5年に一度行う目的は？

震災以前と同様に10年に一度に戻すべきではないかと思いますが、5年に一度行うことの意味を伺います。

**飯島 総務課長** 支援団体等に感謝の意を伝える

震災から復旧・復興していく中で様々にご支援をいただいた団体等があり、感謝の意を伝える部分で感謝状の贈呈等を行ってきています。

まだ震災から10有余年が経過した段階であり、そういった機会に功労者の表彰をしていきたいと考えています。

## 二酸化炭素排出抑制対策事業

**高木 光雄 議員** 太陽光パネル設置の他、充当先は？

歳入と歳出の差額が約5200万円ほどありますが、現在実施している中央体育館脇などの事業費の他、何処に使う予定なのか伺います。

**飯島 復興企画課長** 役場庁舎の空調設備に充当

役場庁舎の空調設備に環境省の補助金を充当していますが、補助率は10/10ではありませんので、町単費の負担による差額が出ています。

## 土砂採取区域森林機能回復事業

**高木 光雄 議員** 今のままで良いのでは？

財政緊縮しなければならない時に約2億5千万円を投入する予算になっていますが、調整池を造ってあるので今のままで良いのではありませんか。

**松本 建設課長** 県から速やかな森林回復の指導

山を切ったままの状態になっており、県から速やかに森林回復をすべきであるという指導も受けており、町としても林地開発を速やかに完成すべきと考えています。

## 童謡まつり事業

**高木 光雄 議員** 集客に向けた演出の検討を！

より多くの町民の方に観てもらえるように、演出も含めて十分検討して実施した方が良いのではありませんか。

**飯島 復興企画課長** 多くの方が参加できる中身に

町民への周知も含めて、多くの方が参加できるように中身にしていきたいと考えています。



ひろの童謡まつり第2部

# 報告

を報告します

## 2月5日（水） 総務文教常任委員会

### 調査件名

- 給食センターの改修について
- 広野駅周辺開発について
- 所管施設の調査について
  - ・広野町サッカー場
  - ・二ツ沼総合公園
  - （ふるさと広野館、リフレッシュ施設）

総務文教

## 広野駅周辺開発

### ●駅東産業団地

航空宇宙・防衛産業の二光製作所は、年度内に社屋建設に着手するとのことでした。

また、町内で開業している新妻歯科医院が新医院を建設する予定で協議を行っているとのことでした。

### ●駅東ニュータウン

一条工務店において一部区画を購入し、自

社の顧客に販売する計画を進めており、うち1区画にモデルハウスを建設し、見学や宿泊体験ができる施設としてのことでした。

また、町内で開業している新妻歯科医院が新医院を建設する予定で協議を行っているとのことでした。

### ●新広野駅舎

令和7年度に旧広野駅舎を交流施設へ改修する予定、令和7年度から令和8年度に駅西側ロータリーの基本設

計・実施設計、不動産鑑定等を行い、令和9年度に支障物件の移転や用地の取得等についてJR東日本との協議等を経て、令和10年度から令和11年度に西側ロータリー整備工事を実施する予定とのことでした。

これらの進捗状況や将来像について、住民への十分な周知を行うよう要請しました。

総務文教

## 給食センターの建設

### ●建設工事

現在の進捗状況は、基礎コンクリート等の工事が1月末までに完了しており、現在は鉄骨等の組み立てを開始しているところで、進捗率は19.5%で計画に対して滞りなく進んでいるとのことでした。

### ●食育推進の展示等

「給食センター施設と働く人々」「食育」なども園、小・中学校給

食だよりと献立」「小・中学校児童生徒の発育状況」「健康づくり」「給食とSDGs」「その他」の大きく分けて7つのテーマについてパネルによる展示を行う方針で進めているとのことでした。

児童生徒にとってわかりやすいような展示方法を検討すること、施設の移行に伴う調理員の練習等を十分に行えるよう対応することなどを要請しました。

総務文教

## 二ツ沼総合公園

### ●施設の状態

二ツ沼総合公園のふるさと広野館については、平成11年に整備され、現在は2階がレストランとして運用されているが、3階展望台についてはほとんど利用がされていないとのことでした。

リフレッシュ施設については、平成15年に整備されたものの、2階の温浴施設はポイラー等修繕や、原油価格の高騰などにより運営が困難であるため閉鎖しているとのことでした。

総務文教

## サッカー場 雨天練習場

### ●施設の状態

平成17年から19年に整備され、震災後は宿舍が設置されていましたが、平成26年までに宿舍の撤去とピッチの張替の復旧がされ、現在は、JFAアカデミー福島が使用し、施設維持もしているとのことでした。



鉄骨柱の組立が進む  
新給食センター

2月6日(木)  
産業厚生常任委員会

調査件名

- 林業専用道整備事業(狼山叶沢線)について
- 所管施設の調査について
  - ・ 防災備蓄倉庫
  - ・ 水防倉庫

# 委員会

## 各常任委員会の活動状況

産業厚生

### 林専用道狼山叶沢線

● 整備目的

水源かん養保安林整備の作業コスト軽減を目的として、令和4年度から開設工事に取り組み、補助金を活用している関係上、工区を10工区に分割し、起点側及び終点側からそれぞれ工事を発注しているとのことでした。

● 整備状況

1〜3工区は完成、現在は4〜6工区の工事を令和7年2月末の完成予定で進めており、令和7年1月末現在の

進捗率は4工区が85%、5工区が50%、6工区が7%とのこと、進捗が遅れている5〜6工区については、福島県に令和7年8月末までの繰越承認の相談を行っているとのことでした。

事業計画最終年度の令和8年度に整備する9〜10工区について、進捗の遅れにより年度内に完成せず繰越になった場合も、補助金は活用できると捉えているとのことでした。

産業厚生

### 水防倉庫

● 設置目的・事業内容

行政や水防団、消防団が使用する水防資機材を保管し、水防活動を迅速かつ的確に行うことができるよう平成13年に整備され、土のう、防水シート、ロープ、杭等を備蓄してい

るとのことでした。土のうは200袋備蓄されており、明り取りから入る日光で土のう袋が劣化しないようにブルーシートをかけるなどの措置も備蓄しているとのことでした。

産業厚生

### 防災備蓄倉庫

● 設置目的・事業内容

東日本大震災の経験と反省を踏まえ、災害時に早急な水・食料などの支援を円滑に行うことを目的として平成28年に整備され、東日本大震災時の住宅被害状況や津波浸水エリア(広野駅東側)の開発による人口増見込等により推計した2443人が避難した場合に備

え、1日3食で3日間の食料や毛布、簡易トイレ、紙おむつ等の物資を備蓄しているとのことでした。

備蓄品は年次計画に基づき補充及び廃棄を進めており、賞味期限まで1年程度となったアルファ化米は防災避難訓練等で参加者に配布、賞味期限が切れた水は手洗い・トイレ用

で活用するため継続して備蓄するなど、有効活用をしているとのことでした。フォークリフトの有資格者が参集できない場合や担当職員以外が備蓄品を搬出する場を想定し、体制整備や備蓄場所が分かる大きな表示をするよう要請しました。



土のう等を備蓄している水防倉庫



防災備蓄倉庫(フォークリフトによる搬出)

# 議会デジタル化

## 福島県議会で研修を受けました

令和7年1月20日、福島県議会の会議用タブレット等の導入による議会デジタル化への取組について、目的、導入事例、利点、課題等について学び、本議会における今後の取組の参考とするため、議員全員参加による研修を実施しました。



取組についての説明の様子

### ●県議会の導入目的・利点

- ・時間、場所を問わず資料を閲覧できる
- ・資料等から必要な情報を検索できる
- ・議会事務局との情報交換が容易になる
- ・印刷製本費等が縮減できる

### ●県議会の使用機材・システム

- ・iPad pro (第5世代)
- ・クラウド型ファイル管理システム  
スマートディスカッション



オンライン模擬委員会の様子  
(会場出席を想定)



オンライン模擬委員会の様子  
(オンライン出席を想定)

### ●研修結果

本議会においても、操作等について十分な訓練等を行う必要はあるものの、業務の効率化、会議費用の縮減等に効果があると思われ、円滑な導入に向けた準備を進めることが重要であると考えました。

## 2月3日 第1回臨時会

令和7年第1回臨時会を2月3日、1日間の会期で開きました。物価高の影響を受ける低所得者世帯への給付金に係る民生費を増額する一般会計補正予算について審議し、原案のとおり可決しました。

### 高木 光雄 議員 未申告世帯数の詳細は？

未申告世帯の45世帯は事情があって申告できない世帯をカウントした数なのか伺います。

### 佐藤 健康福祉課長 未確認の転入世帯も含む

申告ができていない世帯と1月1日後、基準日までに転入した世帯で申告の確認ができていない世帯の対象見込み数となっています。

### 令和6年度2月補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	1902万円	60億2139万円
主な内容		
○物価高騰重点支援給付金		1636万円
○物価高騰支援補助金		266万円

# 一般質問

# 6人の議員が 町政を問う

## 一般質問

一般質問は、行政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、説明を求めたり、所信を問いただすものです。

渡邊 忠義

- 福島再生加速化交付金に伴う農業水利保全管理と農業用ため池管理の整備事業等の取り組みについて
- 広野町地域おこし協力隊公募について

P14

遠藤 浩

- 町長の第3期町政について
- 行政職員の離職について
- 子どもたちの視力低下について

P15

高木 光雄

- 事業執行における基本的事項の確認
- 災害廃棄物の臨時集積所設置について

P16

西本 久雄

- 公道の維持管理に関する現状と今後の取り組みについて

P17

北郷 伯弘

- ごみと資源の分け方・出し方の基本ルールについて

P18

西内 玄太

- チャレンジショップの実施について

P19

## 追跡

レポート

議員の質問・提言に答える町執行部、その質問・提言をどう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

令和6年5月産業厚生常任委員会 所管施設の調査について（児童館）  
外部からの侵入や子どもが飛び出す可能性、館庭北側にフェンスの設置を！

令和7年1月に設置工事が完了し、子ども達が安全に過ごせる環境が整備されました。



設置前



設置後



わたなべ ただよし 議員  
渡邊 忠義

## 水利保全・ため池管理

### 今後の整備の取組は？

#### 町長／補助事業を含め検討

**渡邊**：南山地区の基盤整備について、落石の懸念、土砂崩れによる水路の詰まりなどで、用水路管理作業に支障をきたしており、水田に引く水量が少なくなっている状況とこのことでした。

水利組合が町に要望書の提出などを行っても回答が無いとのことですが、町民から要望や電話などで相談があった場合、職員にどのような指導を行っているのか伺います。

**町長**：町民から要望や相談があった場合は、適切に対応するよう課長を通じて指導し、課ごとあるいは階層別に職員と懇談を行い、より良い職務バランス体制の構築に努めています。

**渡邊**：福島再生加速化交付金に伴う農業水利保全管理と農業用ため池管理の整備事業等に取り組み意思があるのか伺います。

**町長**：福島再生加速化事業は営農再開を目的としていることから活用は困難な状況となっております。

現在、各水利組合へ交付している日本型直接支払推進交付金を活用して水路・ため池の軽微な補修を行うことが可能です。

今回の水路・ため池については、事業規模にもよりますが、補助事業の活用及び受益者の負担も含め検討してまいります。

## 地域おこし協力隊

### 主体的な活動時間の確保は？

#### 町長／活動計画を柔軟に対応

**渡邊**：令和7年度から地域おこし協力隊を採用し、隊員は1年から3年の間、様々な活動を行い、任期終了後の定住・生業づくりに向けた生活基盤の構築を行うとのことですが、

隊員が主体的に活動を進めるための時間をどのように確保するのか伺います。

**渡邊**：地域住民に対しては、地域おこし協力隊の制度等をどのように説明するのか伺います。

**町長**：「広報ひろの」や町ホームページ、ソーシャルメディアなど複数の媒体を通じて、隊員の活動内容等の情報発信を行ってまいります。

**町長**：担当部署において定期的な情報交換を行い、広野町移住定住ポータルサイト「HIRONOSTYLE」(ヒロノスタイル)などを通じて、卒業生が関わる地域活動や事業の情報を収集し、町内外へ情報発信を行っています。

**町長**：隊員の活動実績やヒアリング等を踏まえ、活動計画を柔軟に対応し、隊員自身が円滑に地域に根ざした活動が行えるよう努めます。

**渡邊**：町では、地域おこし協力隊を卒業された方のその後の活動についてどのように把握しているのか伺います。



えんどう ひろし 遠藤 浩 議員

### 町長3期目

## 町政の進展は？

### 町長／これまでの事業を継続

遠藤：町政の4年目、「漸進の年」とし、ふる里の歴史、伝統、文化を継承、医療福祉、教育の充実、地域経済の更なる発展を掲げています。

これまでの3年間でも取り組んできた事ですが、過去の取組と何が違うのか伺います。

### 町長／課題解決に向けた取り組みは中・長期

町長：課題解決に向けた取り組みは中・長期から、これまでの事業を継続させ確実に完成に導くことで未来を創っていきます。

廃炉・復興関係事業者や県内外の他市町村からの移住者を受け入れ、約6千人の新たな時代の防災に強い「安全・安心な共生のまちづくり」に取り組みしていきます。

### 職員離職

## 防止に取り組み考えは？

### 町長／職場環境整備に取り組み

遠藤：町長の町政期中、課長職の職員が定年前に数名、離職されています。

知識や経験を持つ職員が離職することは、福祉施策の低下など町民に不利益を及ぼす問題と捉えています。町長の考えを伺います。

町長：行政経験が長く、多くの知見を有する課長職員が定年前に退職することは町行政にとって損失であり、残念なことと捉えています。

遠藤：公務員離れが騒がれる昨今、職員の離職防止に取り組み重要性について考えを伺います。

町長：町長と職員との意見交換会、職員提案制度、人間ドッグ制度を導入しています。

さらに、人事異動に関する希望を異動に反映する取り組みを行っています。働きやすい職場環境をつくることは、職員のモチベーション向上に繋がると捉えており、有給休暇・男性の育児休業の取得促進など、柔軟な働き方ができる職場環境整備に取り組んでいきます。

### ICT機器

## 子どもの視力低下対策は？

### 教育長／保健だより等で呼びかけ

遠藤：文部科学省の学校保健統計調査で児童生徒の裸眼視力1.0未満の割合が過去最高を更新したと報告されていますが、ICT機器の利用による視力への影響について伺います。

遠藤：学校内で実施している視力回復に繋げる取り組みについて伺います。

教育長：保健だよりや掲示物に児童生徒の視力低下を予防するための特集を掲載し、児童生徒へ呼びかけています。

目の健康を守るための方法、屋外活動の推奨など、視力低下予防に資する取り組みを児童生徒に指導しています。

家庭でタブレット端末等を使用する際に、適切に休憩をとることや、睡眠時間をしっかりと確保するよう家庭と協力して指導していきます。



たかぎみつお 議員  
高木 光雄

入札制度

適正性確保は十分か？

町長／法令に基づき施行

**高木**：業務委託や工事入札等を行うにあたって、単独と共同企業体の種別根拠について伺います。

**町長**：広野町建設工事に係る共同企業体取扱要綱第6条に基づき、工事の規模、内容、金額等を勘案し、大規模な建築工事や用地造成工事など、特に必要と認める工事について共同企業体に発注しています。

**高木**：町では指名競争入札を主体的に取り入れておりますがその理由を伺います。

**町長**：一般競争入札は入札手続きが厳格かつ複雑であり、さらに不良・不適格業者の参入のおそれがあり、真に契約履行能力がある者が落札するという保証はないため、確実な契約の履行がなされないおそれがあるなど短所が指摘されています。町発注の公共工事の発注に関しては、随意

契約する場合を除き、法令に基づき指名競争入札方式により施工しています。

**高木**：工物品質低下等を考慮し、他自治体では最低制限価格制度を導入されています。当町では導入していませんが、どのように捉えているか伺います。

**町長**：指名競争入札方式を採用しており、契約の内容に適した履行を確保する工事等の請負契約の案件が認められないため、最低制限価格制度は導入していません。

災害廃棄物

集積所を設置すべき

町長／2箇所の候補地を選定

**高木**：町では、東日本大震災以降、防災に強いまちづくりに取り組んでいます。

近年、線状降水帯が各地で発生し予想外の大被害が発生しております。

いわき市では令和5年9月に台風13号の直撃を受け、記録的豪雨により大量の災害廃棄物が発生し、その際に指定した場所以外への投棄が相次いだことを受け、市が全国に先駆け臨時集積所設置を導入しました。

町でも大規模集積所及び臨時集積所を早急に設置すべきと思いますがどのように考えているか伺います。

**町長**：令和6年6月に策定した「広野町災害廃棄物処理計画」の中で、本町における災害廃棄物仮置場については、「広野町総合グラウンド」と「二ツ沼総合公園南駐車場」の2箇所を候補地として選

定したところですが、災害発生時には被害規模に応じて空スペースのある町有地に臨時集積所を設置するなど、災害廃棄物の受入れがスムーズに行えるよう体制を整えていきます。



東日本大震災時の災害がれき仮置場  
(現東町産業団地)



# 道路維持管理

## 中長期的な計画は？

### 町長／修繕計画に基づき実行

**西本**：近年、老朽化が進む道路や歩道の修繕が追い付かず、危険箇所が増えているとの声を地域住民から多くいただいています。

雑草やごみの放置などの問題もありますが、本町における公道の維持管理の現状について特に老朽化した道路や歩道の点検・修繕状況はどうなっていますか。また、維持管理に関する主要な課題は何と認識されているか伺います。



にしもと ひさお  
**西本 久雄** 議員

**町長**：橋梁・トンネルなどの道路施設は5年に1度の法定点検を実施するほか、委託して路面を調査し、さらには職員が週2回道路パトロールを実施しています。

町民からの情報提供や道路施設の異常が発見された場合は、現地を確認し補修等を実施しています。課題としては技術職員の採用など体制づくりが必要であると捉えています。

**西本**：公道の維持管理に割り当てられている年間予算は十分と考えているか伺います。

**町長**：道路の維持管理については、点検や調査により現状を把握し緊急性・安全性を考慮して計画性を持って安全で円滑な交通を確保するため効率的な維持管理に努めており、予算額についてはその都度予算化しているため十分と考えています。

**西本**：公道の不具合や改善要望について、住民からの意見収集はどの様に行っているか伺います。

**町長**：町長への手紙をはじめ道路利用者並びに近隣住民からの情報収集や行政区長会議及び住民説明会において意見を頂いています。現地の状況を確認し、緊急性や安全性について検討して対応しています。

**西本**：老朽化対策や安全性向上に向けた中長期的な計画は策定されていますか。

地域住民や民間企業との連携を強化する取り組みについて、どの様に進めていくお考えか伺います。

**町長**：「広野町橋梁長寿命化修繕計画」「広野町トンネル長寿命化修繕計画」「広野町大型カルバート長寿命化修繕計画」を策定して取り組んでいます。地域住民や民間企業の協力を頂きクリーンアップ作戦などでゴミ拾いや除草を実施しており、この活動を定着させていきます。

また、民間企業における維持管理に関する創意工夫やノウハウについて国や県の事例を収集し検討していきます。



倒木や落ち葉によるスリップが懸念される林道夕筋線



きたごう 北郷  
みちひろ 伯弘 議員

びみ出し

ルール徹底の取組は？

町長／自発的な順守を促す

北郷：ごみを毎週出す曜日は承知しておりますが、守らない人もいます。

環境美化推進員が回って対策を講じているようですが、それまでの間、放置されたごみは強風等により飛び回って、結果土手や耕地、河川、家の片隅に落ち着きます。

未来に生きる力を保つためにも、ごみの出し方に関するルールの徹底をさせるための方策について考えを伺います。

町長／自発的な順守を促す

町長：町内各戸に「家庭ごみ収集カレンダー」と「ごみと資源の分け方・出し方早見表」等を作成して配布するとともに、町のホームページや広報誌を活用し、ごみ出しルールの順守を呼びかけています。

ルール違反のごみについては、環境美化推進員が町内を平日毎日巡回し、ごみステーションの清掃・除草、違反ごみの分別を行い、周辺環境に悪影響を及ぼさないよう適切に処

理しています。

違反ごみがあった場合は、すぐに収集してしまうと間違ってしまう方も含め、地域の方が分別して出さなくても良いと誤解されることもあるため、理由を記したシールを貼って一定期間の取り残しを行うことにより、排出ルールの自発的な順守を促すことも行っています。

状況に応じて注意看板や監視カメラを設置するなどして、ごみの出し方に関するルールの徹底が図られるよう取り組んでいきます。

北郷：いわき市と町の指定ごみ袋の販売価格について、なぜ違うのか、ごみの処分にかかる費用の個人負担の差なのか伺います。

町長：いわき市では、市が販売されるごみ袋を一定の規格に統一し、それらの使用を排出者に義務付けています。

本町を含む双葉8町村においては、双葉地方広域市町村圏組合がごみ収集を担い、ごみ処理手数料の一部を付加した有料のごみ袋の使用を排出者に義務付けています。

排出量に応じた負担の公平性及び住民の意識改革を進めながら、ごみの分別の徹底、リサイクルの推進、ごみ焼却施設への負担軽減と処理費用の削減に取り組んでいます。



違反シールが貼られた違反ごみ（違反理由：指定袋に入っていない）

# チャレンジショップ

## 店舗の設置は可能か？

### 町長／空き店舗の活用を検討

**西内：**チャレンジショップは、新規事業者や創業希望者が短期間で低コストに店舗経営を試すことができる制度で、導入する自治体が増えています。

当町においても、地域経済・コミュニティの活性化、創業希望者が移住を検討する機会の増加などのメリットがあると考えますが、駅東側産業団地の空地に、トレーラーハウス型の店舗を設置し、賃貸することは可能か伺います。

**町長：**広野駅東側産業団地につきましては、事務所、宿泊施設、居住施設、医療施設、工場の立地等を目的として整備を行っています。

現状の空き区画、3区画につきましましては、当初の整備目的に沿って継続的に誘致に当たっている現況にあり、トレーラー型の店舗を設置し、賃貸することは難しいと捉えています。

**西内：**公共施設内に小型のコンテナ型店舗を設置し、賃貸することは可能か伺います。

**町長：**当町における公共施設において、公共施設内に小型のコンテナ型店舗を設置することが可能なスペースは無く、賃貸することは難しい現況にあります。が、チャレンジショップは、事業を始めようとしている方、新事業の展開を目指す方等に対し、低予算で出店できる店舗スペースを一定期間貸し出し、企業者の創出、商店街をはじめとする地域経済活性化を図ることを目的としており、空き店舗等の活用を含め柔軟に検討してまいります。

にしうち げんた  
西内 玄太 議員



小野町のトレーラー型チャレンジショップ

# 議案等の審議結果

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 病：病気等 退：退席 除：除斥 無：無記名投票  
 ※議長は採決に加わりません。

## 令和7年3月 第1回定例会

審議結果

議案等番号	件名	議決 月日	出 席 者 数	表 決 者 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	議 員 名 (議席番号順)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
								西 本 久 雄	渡 邊 忠 義	高 木 光 雄	渡 邊 正 俊	西 内 玄 太	北 郷 伯 弘	遠 藤 浩	門 馬 ま り え
議案第2号	広野町空家等の適正管理に関する条例の制定について	3/11	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	空家等の適正な管理に関する事項を定めることにより、事故、火災、犯罪等の発生を防止するとともに、良好な生活環境の確保を図ることを目的に条例を制定するもの。														
議案第3号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	3/11	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い、関係する条例について一括して改正を行うため、その他所要の改正を行うための条例を制定するもの。														
議案第4号	広野町課設置条例の一部を改正する条例	3/11	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	本条例中規則への委任規定について所要の改正をするもの。														
議案第5号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	3/11	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	令和6年度福島県人事委員会勧告に基づく仕事と生活の両立支援の拡充を図るため、本条例について所要の改正をするもの。														
議案第6号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	3/11	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、本条例について所要の改正をするもの。														
議案第7号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	3/11	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	令和6年度福島県人事委員会勧告に基づく給与制度のアップデート、その他諸手当に関し、本条例について所要の改正をするもの。														
議案第8号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	3/11	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	特殊勤務手当の対象として新たに2項目（動物死体処理作業、行旅死亡人取扱業務）を追加し、その他本条例について所要の改正をするもの。														
議案第9号	地方公務員法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例	3/11	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	地方公務員法の一部を改正する法律及び職員の給与に関する条例の改正に伴い、本条例について所要の改正をするもの。														
議案第10号	指定管理者の指定について（広野町二ツ沼総合公園）	3/11	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	地方自治法第244条の2第6項の規定により、広野町二ツ沼総合公園の管理運営を行わせる指定管理者の指定をするもの。														
議案第11号	指定管理者の指定について（広野町公設商業施設）	3/11	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	地方自治法第244条の2第6項の規定により、広野町公設商業施設の管理運営を行わせる指定管理者の指定をするもの。														

# 議案等の審議結果

## 審議結果

議案等番号	件名	議決月日	出席者数	表決者数	賛成	反対	議決結果	議員名(議席番号順)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
								西本久雄	渡邊忠義	高木光雄	渡邊正俊	西内玄太	北郷伯弘	遠藤浩	門馬まりえ
議案第12号	令和6年度広野町一般会計補正予算(第8号)	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ4億6935万円を減額するもの。主な内容は各種事業の確定に伴う減額計上。広野町こども未来基金費、住宅管理費及び防災対策費等については増額計上。														
議案第13号	令和6年度広野町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ1億798万円を減額するもの。主な内容は一般管理費、保険給付費及び予備費等の減額計上。														
議案第14号	令和6年度広野町土地開発事業特別会計補正予算(第2号)	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ1898万円を減額するもの。主な内容は広洋台整備事業費、駅東側整備事業費及び東町土地開発事業費の減額計上。														
議案第15号	令和6年度広野町介護保険特別会計補正予算(第4号)	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ459万円を減額するもの。主な内容は一般管理費及び認定調査費の減額計上。介護給付費準備基金積立金及び予備費については増額計上。														
議案第16号	令和6年度広野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	3/12	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ514万円を増額するもの。主な内容は後期高齢者医療広域連合納付金、健康診査事業費及び予備費の増額計上。														
議案第17号	令和7年度広野町一般会計予算	3/12	8	7	6	1	原案可決	○	×	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ64億2476万円の予算計上。														
議案第18号	令和7年度広野町国民健康保険特別会計予算	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ6億8821万円の予算計上。														
議案第19号	令和7年度広野町土地開発事業特別会計予算	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ3654万円の予算計上。														
議案第20号	令和7年度広野町介護保険特別会計予算	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ5億3386万円の予算計上。														
議案第21号	令和7年度広野町後期高齢者医療特別会計予算	3/14	8	7	7	0	原案可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ6906万円の予算計上。														

# 議案等の審議結果

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 病：病気等 退：退席 除：除斥 無：無記名投票  
 ※議長は採決に加わりません。

## 令和7年3月 第1回定例会

議案等番号	件名	議決 月日	出 席 者 数	表 決 者 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	議 員 名 (議席番号順)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
								西 本 久 雄	渡 邊 忠 義	高 木 光 雄	渡 邊 正 俊	西 内 玄 太	北 郷 伯 弘	遠 藤 浩	門 馬 ま り え
議案 第22号	令和7年度広野町下水道事業会計予算	3/14	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	下水道事業収益予定額2億3713万円、下水道事業費用予定額2億9157万円、資本的収入予定額は3176万円、資本的支出予定額は8596万円の予算計上。														
議案 第23号	広野町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて	3/14	8	7	7	0	原案 同意	○	○	○	議	○	○	○	○
	現委員の小野修司氏が来る5月19日付けをもって任期満了となることから、同氏を適任者と認め、再任するもの。														
発議 第1号	広野町議会政治倫理条例に関する調査特別委員会の設置について	3/14	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	議会政治倫理条例の制定に向けた調査特別委員会を設置するもの。														
選任 第1号	広野町議会政治倫理条例に関する調査特別委員会委員、委員長及び副委員長の選任について	3/14	8	7	7	0	選任 決定	○	○	○	議	○	○	○	○
	広野町議会政治倫理条例に関する調査特別委員会委員、委員長及び副委員長を選任するもの。														
諮問 第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	3/14	8	7	7	0	適任	○	○	○	議	○	○	○	○
	現委員の大和田文子氏が来る6月30日付けをもって任期満了となることから、同氏を適任者と認め、再度推薦するため、議会に意見を求めるもの。														

審議結果

## 令和7年2月 第1回臨時会

議案等番号	件名	議決 月日	出 席 者 数	表 決 者 数	賛 成	反 対	議 決 結 果	議 員 名 (議席番号順)							
								1	2	3	4	5	6	7	8
								西 本 久 雄	渡 邊 忠 義	高 木 光 雄	渡 邊 正 俊	西 内 玄 太	北 郷 伯 弘	遠 藤 浩	門 馬 ま り え
議案 第1号	令和6年度広野町一般会計補正予算(第7号)	2/3	8	7	7	0	原案 可決	○	○	○	議	○	○	○	○
	歳入歳出それぞれ1902万円を増額するもの。主な内容は物価高の影響を受ける低所得者世帯への給付金。														

# 会議等出欠状況

議会の議長や、各委員長等から招集通知があり、開催された会議や研修の出欠状況です。

このほかにも、町が主催する式典や小・中学校の発表会、広域圏組合や双葉地方町村議会議長会が主催する会議にも出席しています。

令和7年1月1日～3月31日

○:出席 ×:欠席 △:遅刻、早退 -:員外 弔:弔事 研:研修 公:公務 病:病気等

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8
				西本 久雄	渡邊 忠義	高木 光雄	渡邊 正俊	西内 玄太	北郷 伯弘	遠藤 浩	門馬 まりえ
出席回数(回)				17	15	16	18	18	17	17	12
会議回数(回)				17	15	16	18	18	17	17	15
1	9	木	広報委員会	○	-	○	○	○	○	○	-
	14	火	広報委員会	○	-	-	-	○	-	-	-
	20	月	福島県議会視察研修会	○	○	○	○	○	○	○	○
2	3	月	令和7年第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	水	総務文教常任委員会	○	-	-	○	○	-	-	○
	6	木	産業厚生常任委員会	-	○	○	○	-	○	○	-
	7	金	双葉地方町村議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	水	令和7年度当初予算事前説明	○	○	○	○	○	○	○	病
	20	木	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	木	令和7年度当初予算事前説明	○	○	○	○	○	○	○	病
	21	金	令和7年度当初予算事前説明	○	○	○	○	○	○	○	病
28	金	議会運営委員会	-	○	-	○	○	○	○	○	
3	7	金	令和7年第1回定例会(1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	月	令和7年第1回定例会(4日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	火	令和7年第1回定例会(5日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	水	令和7年第1回定例会(6日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	金	令和7年第1回定例会(8日目)	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	金	広報委員会	○	-	○	○	○	○	○	-

## 当初予算事前説明

令和7年第1回定例会に先立ち、2月19日から21日までの3日間、重点事業を中心に担当課長から令和7年度当初予算の説明を受けました。



当初予算事前説明の様子

## 議会の様子を見てみませんか？

### 次回の定例会は6月です

議場傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名をご記入いただくだけで、議会を傍聴できます。

また、定例会の録画映像をインターネットでも配信しています。

広野町ホームページまたは、下のQRコードからアクセスできますので、ぜひご視聴ください。

●議会映像ホームページ  
<https://hirono.k-quick.net/>



# まちかど ま インタビュー



## 町制施行85周年！

### これからの町に思うことは？

昭和15年4月1日に町制が施行され「広野町」が誕生してから今年で85周年を迎えます。人口減少や少子高齢化など町を取り巻く環境が変わりゆく中で、広野町の未来に思うことをお聞きしました。



石田 祥子さん  
(地域おこし協力隊)

私は、広島県の大学を卒業してすぐに、この4月から地域おこし協力隊として移住してきました。在学中からインターンやイベントなどで広野町に通ううち、町民の方々が温かく接してくださいったことで、とても魅力的な町だと感じました。これから地域おこし協力隊の活動を通して、移住を希望される方と地域住民の皆さんの橋渡し役になって、人が温かく、より楽しい広野町を目指す力になりたいと思います。



山岸 怜子さん  
(上浅見川)

広野町になって85年が過ぎたことを考えると自分でも驚くほど長く生きてきたと感じます。昔を思い返すと、お店をやりながらの子育てがとも大変で、親が近くにいたからこそやってこられたと思います。住んでいる人が減って、若い人たちが昔以上に子育てに苦労しないか心配です。町がそつした人にとって快適な環境であってほしいと思います。

## 編集後記

3月議会では、新年度予算の審議が中心となり、地域活性化や福祉施策、防災対策など多岐にわたる議案が議論されました。特に子育て支援や高齢者福祉の充実、公共施設の改修計画に注目が集まり、町民皆さんの暮らしに直結する重要な決定がなされました。これからも町民の皆さんのために、誠意と情熱をもって取り組み、未来への希望を築いて参ります。議員としては1年が経過し、まだ初の経験もあり戸惑いもありましたが、反省点を踏まえ、次回以降はより積極的な意見を述べ、議会の活性化に努める所存です。更なる飛躍を誓います。  
(西本 久雄)



春を告げる桜

## 次の定例会は6月です

- 発行・編集責任者 議長 渡邊正俊  
 広報委員会 委員長 西内玄太  
 副委員長 西本久雄  
 委員 遠藤 浩  
 委員 北郷伯弘  
 委員 高木光雄